


成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき

神奈川県川崎市（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<ul style="list-style-type: none">■ 人口150万人を超える日本有数の製造業集積都市であり、かつ多数の研究開発機関が集積する先端技術開発拠点都市。■ 大規模自然災害の発生、脱炭素社会の実現に向けた取組の進展及び社会のデジタル化の進展などの環境変化に対して、多様なステークホルダーとの更なる連携を図りながら、SDGs達成に向けた取組を推進する。	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	<ul style="list-style-type: none">■ 令和4年3月に「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」を本市の最上位計画である「川崎市総合計画第3期実施計画」と統合し、総合計画に掲げる施策・事務事業とSDGsの達成に向けた取組を一体的に推進している。■ 「かわさきSDGsパートナー」制度及び川崎市SDGsプラットフォームの効果的な運用により、企業、NPO、学校など多様なステークホルダーの取組事例の共有や、連携した取組の創出を促している。		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組	6. 取組成果		
<ul style="list-style-type: none">■ 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」 ・SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体の皆様が川崎市が登録・認証する制度。令和6年3月末時点で3,308者。■ 川崎市SDGsプラットフォーム ・かわさきSDGsパートナーの活動を支援し、参加団体相互のネットワークを構築すること等を目的として設置。 ・地域金融機関の川崎信用金庫と共同事務局として運営。 ・コアメンバーである地域経済団体や市民活動支援団体等と連携しながら、パートナーの取組支援や情報発信等を実施。	<ul style="list-style-type: none">■ かわさきSDGs大賞 パートナーの優良事例の共有を行う「かわさきSDGs大賞」を令和4年度に初実施。令和5年度は、11件の応募から大賞を含む5団体を選定。■ SDGs達成に向けたモデル事業創出支援補助金 市内のSDGsの取組を普及・促進するためモデル事業を創出する補助金を令和4年度に試行実施、令和5年度から本格実施へと移行。令和5年度は、19件の応募から8件をモデル事業として採択。■ 分科会 SDGsの達成に向けてパートナーが協力・連携し、自主的に活動する分科会が令和4年度に初設置。令和6年3月末時点で9分科会が活動中。		
5. 取組推進の工夫	7. 今後の展開策		
<ul style="list-style-type: none">■ 多様な主体の連携を進めるため、企業だけではなく、NPO、市民団体、教育機関等もパートナー制度の対象としている。■ 地域社会と経済を支える地域の中小企業等へのSDGsの更なる浸透を図るため、庁内の環境部署や経済部署等とも連携を図りながら、再エネ・省エネ・資源循環やSDGs経営等に関する情報共有、支援制度の構築等を進めている。	<ul style="list-style-type: none">■ 職員がSDGsの本質と使い方を理解し、事業連携・改善等に繋げていくための考え方や先進事例などを掲載した『Kawasaki City SDGs Guidance ～川崎市庁内SDGs取組の進め方～』を策定・改定。■ プラットフォームや庁内関係部署と連携しながら、パートナーの更なる活動支援や連携・協働による新たな取組の創出を推進する。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	<ul style="list-style-type: none">■ 市内の優れた環境技術を広く情報発信する展示会「川崎国際環境技術展」やパートナーの情報を随時発信する「かわさきSDGsポータルサイト」、「東急SDGsトレイン」等において、市内外に川崎市の取組及び市内事業者やパートナーの優れた取組の情報発信を実施。■ 令和6年3月に策定した『Kawasaki City SDGs Guidance ～川崎市庁内SDGs取組の進め方～ver.2.0』を全SDGs未来都市に展開。さらに、令和6年7月に実施した、本『進め方』に係る川崎市若手職員SDGs研修に5自治体が参加。		